

## 平成13年度 施策別 取組 方向

部局名：農林水産商工部

施策番号	施 策 名		
4 2 2	新規成長産業の振興と基盤整備		
<p>【2010年度の目標】</p> <p>産業構造の大きな変化のなかから、地域の特性を生かしながら、時代を先導する新しい産業分野の企業活動が活発に行われ、地域経済を支えています。</p>			
項 目	基準年度の状況	1999 年度実績	2001 年度の目標 (2010 年度の目標)
技術先端型、研究開発型企業の誘致割合	2 割	3 . 6 割 ( 累 計 )	3 割 ( 累 計 ) ( 4 割 )
新規分野での公設試験研究機能の整備	-	3 分野 ( 工 技 総 研 )	4 分野 ( 同 上 )
高規格工業団地の整備	1 か所	1 か所	3 か所 ( 4 か所 )

### 1 平成11年度の取組

#### (1)平成11年度の取組概要とその成果

戦略的に位置づけられた産業分野での産学官連携が図られるよう設立された「みえ新産業創造支援会議」を中心として、本県の次世代産業を担っていく企業の活動がおこないやすい環境づくりや企業化を支援するシステムの整備等に取り組んできました。

また、技術開発面の支援機関である（財）三重県工業技術振興機構を活用し、新技術、新製品の研究開発や異業種交流（テクノフォーラム、ハイブリットフォーラム）など各種交流会活動の支援等に取り組んできました。

さらに、県内産業の高度化が促進されるよう、自然環境に配慮した工業団地（ニューファクトリーひさい工業団地）の整備、新規成長が期待できる技術先端型企業や研究開発型企業の誘致等に取り組んできました。

## (2)平成11年度の取組に対する問題点

「みえ新産業創造支援会議」のもと、5つの分野別交流会においてセミナー形式の交流の場を設けてきましたが、新たな事業創出の実効性に欠けたところがありました。

「三重のくにつくり宣言」で定めた技術先端型、研究開発型企業の誘致割合は、2001年度の目標3割を達成しているものの、2010年度の目標4割の達成については、より一層の努力が必要です。

高規格工業団地の整備目標については、更に1カ所選定していく必要があります。

## 2 平成12年度の取組と成果見込み

「みえ新産業創造支援会議」傘下の集客交流、環境、情報、医療・健康・福祉、海洋にバイオを加えた6つの分野別交流会のサポート研究会を充実させ、産・学ならびに産・産の緊密な連携を図るとともに、「みえプラットフォーム」事業にも融合し、新規事業創出の環境整備を図ります。

企業立地課において、より一層誘致体制が強化されたことに伴い、さらに技術先端型・研究開発型企業に重点を置いた企業誘致を進めていきます。また、外資系企業誘致のノウハウを検討することや、クリスタルバレーの構築を目指します。

## 3.平成13年度以降に向けての取組方向

引き続き、県内産業を先導し、産業構造の高度化に貢献する技術先端型、研究開発型の新規成長が期待できる企業に重点をおいた誘致活動の展開を図ります。

また、志摩地区に陸揚げされる光通信ケーブルを活用した「パールバレー構想」、多気町のシャープ株式会社三重工場を核とした液晶企業の集積を図る「クリスタルバレー構想」、県内に立地する半導体や光ファイバーケーブル等の企業群の更なる集積を図る「シリコンバレー構想」の各構想に寄与するITや液晶等の情報通信関連産業の誘致についても積極的に取り組んでいきます。

さらに、進出した企業が創業しやすい環境の整備についても関係部局や(財)三重県産業支援センターと密に連携をとりながら推進します。